特集

安定的な財源の確保に取り組むクラブ

NPO法人 ゆめフルたけとよスポーツクラブ ＜愛知県知多郡武豊町＞

　日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。安定的な運営のためには、受益者負担を基本に、最終的には自主独立の財務運営を目指す取組が求められます。

　そこで今回は、事業受託・会費の設定を工夫するなど、財源の確保に向けた取組を行っているクラブを紹介します。

ここがポイント！

1. スポーツも受益者負担！ ニーズを探り、顧客満足度を上げる
2. 行政と良好な関係を築き、事業受託をきっかけに積極的な提案を！
3. 地域密着のクラブ経営と次世代の育成を進める

1　クラブ概要

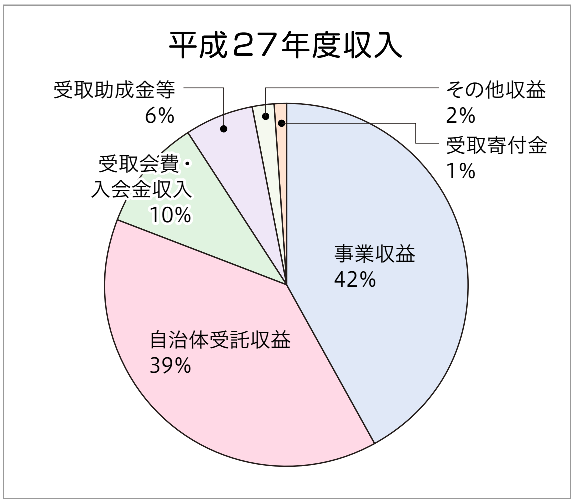
地域の小中学生のスポーツ運動能力が低下している中、文部科学省の施策に後押しされる形で、住民の英知と行政の支援のもと設立されました。既存団体を母体に持たず町内にただ一つのクラブをつくることにより、しがらみなく運営する形をつくり、「スポーツ活動を通じて子どもから大人までの町民が心もからだも健康でイキイキと暮らせる町づくりに貢献する」ために日々努力しています。

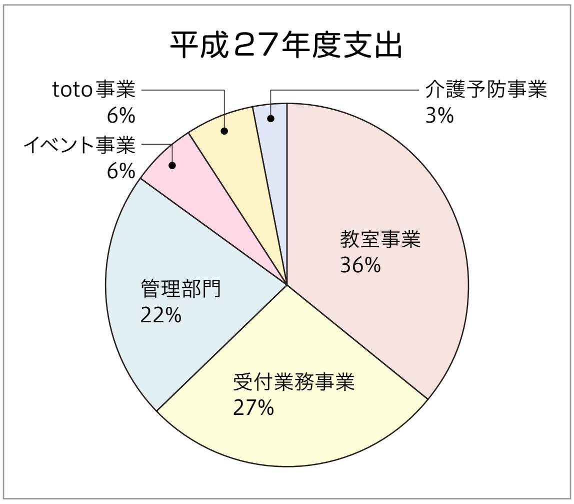
法人格取得後は、幼児対象教室と高齢者対象教室の強化をはかり、理念の継承と今後のクラブ基盤強化に必要と思われる若い世代（20代常勤職員）を雇用しました。また、指導者研修会（指導者講習会・リスクマネジメント講習会・AED講習会）を行う事により指導者のスキルアップ・リスク回避・接し方・緊急時の対応等を学んでいただく機会を年数回つくり、顧客満足度を上げる事にも努めています。

2　財務計画作成によるマネジメント強化

財務計画については、平成24年度日本体育協会公認クラブマネジャー資格取得の折に作成した5ヶ年間の事業収支計画をもとに、単年度事業収支計画をたて、以後3ヶ年毎の事業収支の見直しと5ヶ年毎の事業収支の見直しをはかり財務計画を作成しています。財務計画や予算は、理事会にて協議し、承認を得ています。

当クラブは、会費を納めればすべての事業（教室）に参加できる形ではなく、会費を払い、その上に参加したい事業（教室）の参加費を納める仕組みとなっています。会費は、会員がクラブを支える資金として払い、会員がクラブを支えるという意識をもって





参加していただくために設けています。
　なお、会費設定は、できるだけ安価に設定し、会員がクラブを支えるために負担にならない金額を設定しています。
　また、参加費設定については、社会情勢の変動（消費税等引き上げ）でやむをえない金額の上乗せと、対象世代、地域ニーズ、事業（教室）の指導内容、顧客の満足度、施設利用料等の必要経費を踏まえて固定費と変動費の区分けを行い設定しています。よって、毎年の参加費見直しの折には、地域ニーズが高く、また、顧客満足度の高い教室については、基本的に参加費の値上げの検討を行い、必要に応じて価格改定を行います。
　参加者のニーズや満足度の調査に関しては、アンケートを行い、広く意見を集めているほか、実際の教室において参加者の雰囲気を感じ、生の声を聞かせていただくことを重視して行っています。
　参加費の値上げについては、よく指導者等から「参加費を上げると参加者が減る」という声がどのクラブでも上がりがちです。当クラブも初めのうちはそうでしたが、その時にクラブマネジャーから指導者へ投げかけた言葉は、「私は、事業（教室）の内容を満足させ、費用対効果のある内容を提供していない。私にはこれ以上の指導はできないと言っているようなものですよ」「皆さんは、日々参加者の皆さんと接し、工夫をしながら参加者に指導をしています。皆さんの指導で参加者が満足されていると判断しているから、参加費を上げることができるんです」というものでした。
　この言葉を聞いた指導者は、ほとんどの方が「参加費を上げたら参加者が減る」ということは言わなくなるうえ、指導に対するモチベーションも高まっているように感じています。
　参加者のニーズに沿い、満足度さえ上がっていれば、参加費の値上げは、さほど問題なく受け入れていただけるものです。その証拠に、参加費を上げた当初は若干の参加者減はありますが、値上げして半年もしくは1年が経つと、値上げ前と同じ参加者数の水準に戻っています。

日本体育協会公認クラブマネジャーとは？

　総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が快適なスポーツライフ（クラブライフ）を送ることができるよう、経営資源を適切に確保し、円滑に活用するために必要なマネジメント能力を身に着けるための資格です。

資格取得には？

日本体育協会が実施する公認クラブマネジャー養成講習会を受講し、検定課題（事業計画書の作成および事業計画書に基づくプレゼンテーション）に合格した方を「公認クラブマネジャー」として認定しています。

カリキュラム

	科目名	時間数	日数
前期	(1) コミュニケーションスキル	34時間	4日間
	(2) マーケティング	17.5時間	
	(3) 経営戦略	15時間	
	(4) 運営	20時間	
	(5) 財務	14時間	
後期	(6) 評価	16時間	3日間
	(7) 実習	16時間	

詳細はこちら

3 積極的な事業受託と提案型の事業受託

●スポーツ振興事業

行政がスポーツの普及を推進するために行っていたスポーツ体験教室・短期教室を、クラブの法人化前には、行政から補助金を受け、一部実施していました。法人格取得後は、クラブから行政に働きかけ、受託事業として実施できるようにしました。その後は、各世代で継続的に参加できる教室を行うようにし、気軽に参加できるイベントやスポーツ教室を行うようにしました。

●体育館受付業務

法人格取得と同時に、将来的な指定管理受託を見据えて、事務所の所在地である体育館の受付業務を受託しました。この受託にあたっても、クラブから行政に働きかけ、最初は日中受付業務から始め、段階的に終日受付業務を行うようになりました。新しい雇用の場をつくるとともに、来館時間の推移や来館状況、来館者の声をじかに聞くことにより、来館者のニーズを収集し、将来の指定管理受託に備えています。

●介護予防事業

高齢化社会が進む中、高齢者の居場所づくりや高齢者の医療費削減が当町でも大きな課題でした。クラブでは、この課題解決の一助として、高齢者に来ていただいて教室に参加していただくのではなく、地域の公民館等に出向いて、高齢者が気軽に集まり体操をすることによって、体力維持をし、転倒しにくく、また、転倒しても骨折しにくい体づくりを実施する「体操サロン」事業を行政に提案しました。

当初は、新しい事業、新たな予算組みが必要であったため、運動効果と高齢者医療費削減の関連性の説明でかなり苦労をしましたが、何度も説明をし、初年度に大学の教授に協力いただいて意識調査・体力チェック等を行い、ある程度成果が実証されれば事業継続という条件のもと開始しました。事業受託当初1ヶ所であったものが、現在町内2ヶ所で開催するまでに至り、平成30年をめどに4ヶ所で毎週開催をする予定で現在進行中です。

体操サロン

法人格取得を機に、行政との間に一線を設け、対等に話ができる状況にしたことが、事業受託にあたってはよい影響を及ぼしました。

4 地域密着のクラブ経営と次世代の育成
～補助金に頼らない仕組みに向けて～

クラブが設立されたことにより、子どもから高齢者まで多種目多世代の事業（教室）が増えました。特に子どもと高齢者の参加できる事業（教室）は、設立以前に行政が行っていた事業（教室）に比べると断然増えました。

子ども達については、競技スポーツだけでなく、スポーツを体験する機会と楽しむ機会を提供することができ、より多くの子どもがスポーツを行える環境の整備ができつつあります。また、高齢者については、運動習慣が身に付き、健康増進体力維持の一助になっていると思われます。

当クラブが受付業務を行う事により、利用者からの意見や要望を的確に把握することができ、クラブ職員からの新たな提案も増え、使用条件の向上がなされるようになりました。

クラブ創設メンバー（第一世代）は、地域での課題を掘り下げ、よりスポーツが出来る環境づくり、多世代が触れ合い助け合えるコミュニティづくりに邁進し尽力をしてきました。設立から7年をすぎ、やっとある程度の形ができ動いています。現在、設立メンバー（第一世代）は、この達成感とやり続けたという自負で一杯です。

しかし、実際はこれで終わりではありません。設立メンバー（第一世代）は、自分たちや会員がつくりあげた理念を次世代に継承し、次世代がクラブで生計をたてる事が出来る仕組みをつくることが最後の仕事です。当クラブも、次世代育成のため2年前から20代の常勤職員を雇用し、この職員がこのクラブで生計を立てることが出来る環境と仕組みをつくっています。

現在は、toto助成を受けているため、その助成金を賃金に充てていますが、1年半後には助成事業が終了します。すでに、助成事業終了後を見据え、助成金に頼らず賃金を払うための財務計画を立てています。

最後に、クラブが存続し続ける条件は、常に地域ニーズに目を向け地域課題を敏感に察知しクラブができる事を行い、人と人を繋ぎ、人とクラブを繋ぎ、人と地域を繋ぐ活動を地道に行う事により、クラブが地域に必要な存在になることが一番大切だと考えています。すなわち、私たちはいつも謙虚に地域と向き合うことが一番重要だと思います。

（NPO法人 ゆめフルたけとよスポーツクラブ
事務局長兼クラブマネジャー　鳥本　靖之）

クラブプロフィール

設立年月日：平成21年3月15日（法人登記：平成23年11月9日）

所　在　地：愛知県知多郡武豊町大字東大高字清水128番地
武豊町総合体育館内

運　　　営：会員数910名（平成28年3月末現在）、
予算規模　約3,200万円（平成28年度）

有 給 職 員：11名（常勤職員2名、臨時職員〔パート職員〕9名）

特　　　徴：生涯スポーツ社会の実現と地域社会の再生を目的として、平成21年3月15日に「武豊町スポーツクラブ」を設立し、地域住民の自主参加による地域密着型の組織をめざし、平成23年11月9日に「NPO法人ゆめフルたけとよスポーツクラブ」を設立しました。このクラブは、住民のニーズをとらえ、将来を担う子ども達や、高齢化社会への対応をはかるために、各種スポーツ教室やイベントの企画、指導者の育成やスポーツ活動の支援を行っています。

■連絡先

郵便番号	470-2521
住　所	愛知県知多郡武豊町大字東大高字清水128番地 武豊町総合体育館内
T E L	0569-84-1100
F A X	0569-84-1101
Eメール	info@taketoyo-sc.jp
ホームページ	http://www.taketoyo-sc.jp